

# 一般社団法人柏青色申告会 会長賞

## みんな感謝のふるさと納税？

柏市立豊四季中学校 第三学年 小林 陽登

時々、食卓には中々見ないような食材が並ぶことがある。それは「ふるさと納税」での返礼品であることが多い。

ふるさと納税は、国民が好きな自治体を選んで寄付するものである。過疎などが原因で税収が減少している地域と都市部との格差を是正するのが目的だ。国民の負担額は実質二千円で地域の特産物などが返礼される。私もふるさと納税を使用して、美味しい米や苺などを食べることができた。利用者は年々増加していて、令和四年度の利用者は八百九十一万人、寄付総額は八千三百二億円にもなった。地域に貢献することができてとても互いに有益な内容だと考えられる。

しかし全ての地域にとってウインウインの内容といえるのだろうか。ふるさと納税が要因で、都市部を中心に大幅に税収が減ってしまったている。特に横浜市は減りが大きく、減収額が約二百二十七億円になってしまっている。他に減収が九十七億円に上った世田谷区は減収による影響が大きくなってしまっている。ふるさと納税で流出する額の七十五パーセントは地方交付税で不足分を補うことができる。しかし世田谷区は不交付団体のため国からの補填がないため事態が深刻化している。そのため、道路の補修や校舎の改築、ごみ収集などの行政サービスに影響がでてしまっている。

果たしてこれは本来のふるさと納税の目的とあっているのだろうか。最初に書いたように、税収が減少してしまっている地域と都市部などの税金の格差を是正するのが目的である。用するに、「ふるさとを支援する」のがふるさと納税の最大の意義だ。

実際に数多くの地域はふるさと納税による恩恵を受けている。ふるさと納税がなければやっていけないという地域も多くあると思う。しかし、ふるさと納税の主旨がずれてきている人もいるのではないだろうか。私が住んでいる千葉県知事である熊谷俊人知事はふるさと納税の制度を「実質的には返礼品を目当てにする『ふるさと節税』になっている」と批判していた。また、併せて「ふるさとに貢献するという制度の趣旨に沿った運営が行われるよう、国には制度の見直しを求めている」と述べている。実際に最近日用品の返礼品が人気である。これは本当に地域への支援や寄付の気持ちがあるのだろうか。万が一、返礼品目当てでふるさと納税を行い、一部の地域で悪影響があるならば、改善など必要だと思う。

本来のふるさと納税は地域を支援し、様々な地域が活性化されていく素晴らしい制度だと思う。良い点を残しつつ、できる限り多くの人が幸せになれるように、進化していつてほしいと思った。